

審 議 会 会 議 録

会議名称	令和4年度 第2回伊達市立図書館運営協力会		
議 題	(1) 教育長への提言について		
開催日時	令和4年8月30日(火) 14時00分～14時55分		
場 所	伊達市立図書館 2階 視聴覚室		
出席委員	安藤 明 委員 本多 正機 委員 伊藤 洋子 委員 佐藤 朋子 委員 松崎 恵子 委員 坪 美幸 委員 小林 浩路 委員 高橋 秀壽 委員 (計8名)		
	所管部課名	教育部図書館	
公開 非公開 の 別	<input checked="" type="checkbox"/> 公開	傍聴者の人数	0名
	<input type="checkbox"/> 非公開	非公開の理由	
【会議の概要】			
1 開会 (事務局：図書館長)			
2 議題【詳細は別紙のとおり】			
(1) 教育長への提言について		添付資料1	
3 その他【詳細は別紙のとおり】			
4 閉会			

【別紙（「2 議題」の協議内容等）】

(1) 教育長への提言について 資料1

会 長：お配りした提言案は第1回の提言案から内容は変わっていない。本日は委員の皆さんから意見をいただいて、それを私と副会長と事務局で提言案としてとりまとめた。

伊達市の財政状況により2年間凍結となったが、凍結はどのタイミングで解除されるのか。

事務局：提言案では2年間と表現しているが、市議会で話したのは伊達小学校の建て替えが終わるまで凍結ということで、今年工事に入っていて令和6年3月に新校舎に引っ越す。予算ベースで考えると、令和3年度、令和4年度は待って、令和5年度の予算から入れてもらうことになると思う。

会 長：2年凍結と心得ていた。

事務局：予算ベースでは令和3年度、令和4年度に計上せず、令和5年度中に計上する。1番目の①～③の提言についてはこれからも生きていく。当然、設計する段階でいただいた意見も入れていくことになる。

会 長：これらの内容については取り組まれていないため、当然最初に盛り込まれる内容である。それ以外にこれまでの経過から何かありますかということ事務局と協議して取り入れていく。10月中旬頃の第3回会議で確定させて、11月に教育長に対して提言することになる。これまで協議してきた内容をベースとした考えが提言案であり、それに新たに意見として出していたいただいた事項を提言案に加えていきたいと考えている。

ご意見があれば出していただきたい。

委 員：3年ほど委員をしているが、雨が降っているときに北側の駐車場から図書館の間に舗装されていないところがあり、水たまりができて大変である。施設整備に合わせて対応すると思っていたが、整備がいつになるかわからないという状況であれば舗装するなどの対応をしたほうが良い。元々玄関のある西側からの利用だったが、駐車場は後からできたため舗装が繋がっていない。

事務局：事務局内でも話していたが、低くなっている部分に砂利を敷くことを考えている。

委 員：玄関前の道路に車を停めて図書を返却する人がいる。

委 員：玄関の向きを変えると入りやすくなると思う。

委 員：函館市の図書館には、ドライブスルーの返却ポストがある。

会 長：入口を変えることで入りやすいということがあるかもしれない。玄関前の道路に停めるのは違反なのか。

委 員：駐車禁止なので違反になる場合がある。

委 員：利用する人からすればそうしたくなる。費用のこともあるが、そうしたこ

とに対応すべきである。

事務局：館内の導線としては皆さんから意見をいただくが、委員から出されたとおりに、利用するときの導線を考えたときは、駐車場からの入り方や通路の整備というのは総合的に考えていかなければいけない。それは、提言案の1の中の④にして、例えば、利便性それから外からの導線の確保とか、それを含めて、例えばドライブスルーとかを書いていけば良いと思う。

会 長：そうですね、①～④の最初の項目にしてもいいぐらいである。整備をするうえで財政面で可能かどうかわからないけども、我々の要求としてはそういったところから進めてほしいという形を出してもいいかもしれない。

事務局：建物のほうがある程度決まれば、導線の整備はそんなにお金がかからないはずである。

委 員：現在の建物が建った昭和55年はまだまだ自家用車の時代ではなかったもので、歩いてくる人を中心に考えられていたと思う。後から駐車場が作られたため、舗装がつながっていない。

事務局：施設整備をする際には駐車場とつながる。

委 員：教育委員会点検・評価報告書でも書かせてもらったが、市民が利用しやすい形、コロナ禍だからこそ、インターネットや電話で図書の予約がしやすくなればもっと利用してもらえと思う。読み聞かせに利用してもらったり、小中学校や高校にも働きかけると、建物が古くたって新しくたって読みたい人は来るのだから、そこらへんを欲張って見たら良いかなと思う。

委 員：1の①～③はみんなのスペースの確保について、現在の建物よりは広くならないと確保できない。現在の場所で整備することになるのか。

事務局：予算次第である。例えば、現在の施設を改修するとか、新しく建てるか、既存の施設をリニューアルするか、この3つのうちのどれかしかない。

委 員：南側の空き地に建てて、ここを駐車場にするという発想はないのか。

事務局：建物を壊すのも相当お金がかかるので、そこにお金をかけるぐらいだったら、図書館にお金をかけたほうが良いと思う。例えば、ここを備蓄庫とかにするなど、本当にお金をかけるべきところにお金をかける方法ではないかと思う。それを含めて市長部局と協議している。

委 員：この建物は古いですよ。建物自体の耐久性がなくなってくる。

事務局：築40年ほどである。もし、この建物をリニューアルするのであれば、柱だけ残す形になり今の建築技術では難しいことではない。当然今よりはきれいになるし、利便性もよくなる。

委 員：土台や柱を取っ払っちゃって、すっかりやり直すとなったら、まず取っ払うことに金がかかる。

事務局：それであれば、新しいものを建てたほうが安くなると思う。

委 員：新築、改築、増改築などがあるが、そこらへんが素人なのでわからない。

事務局：1の①～③は常に考えている。それに、駐車場からのアクセスの良さがあるが、それにはお金はそんなにかからない。

委員：プランはいくつか考えてはいるのか。

事務局：それはいくつか考えているし、どれくらいの費用がかかるのかも考えている。どのプランにおいても1の①～③のことは考えている。

委員：総2階建てをイメージして良いのか。3階建てとかはあるのか。

事務局：維持管理のことを考えたら平屋建てになる。

委員：維持管理を考えると、エレベーターが必ず必要で保守等にお金がかかる。

委員：もし、ここを使うとしたら増築はできるのか。

事務局：平屋建てにするということは大きくするということになるし、ここを改築するにしても面積を増やしたいと思っている。今、建築材料費が高騰していて、時期も考えていかなければならない。できれば、いい資材を使って建てたいので、今建てるのが一番かかるかもしれない。

委員：伊達市も人口が少なくなってくるので、この大きさの必要性があるのかという将来を考えたものにしなければならず、難しい面がある。大きな建物を作ると10年程度毎に大規模な修繕が必要となり、市民の負担になる。他市の建物で凄く良いねと言われるが、伊達市にその規模のものが必要なく、身の丈にあったものを建てざるをえないと思う。奇抜なものを建てるとメンテナンスが大変なので、維持管理費がかからないようにシンプルで市民に訴えかけられるものにしなければならぬ。

会長：我々の立場としては、実現できる、できないということを心配しながらこれは無理だろうというよりもわがまま放題に言うくらいのもりで、それを行政のほうとしては財政等を勘案して具体的にやっていかなければいけないわけだから、我々はわからないからしゃべらないということではなく、いろいろな意見を聞きながら勝手にしゃべるという立場で進めていきながら、具体的に案として出すか出さないかというのは我々と事務局が話し合っただけで案を作って皆さんに諮る形で進めて、教育長に提言する形でまとめていくという考えでいいと思う。

委員：機械が苦手な私が言うのも変だが、Wi-Fi環境とか、関連するとは思いますが、市立学校とか高校とか、読書活動を活発にしたいという意味でWi-Fiとかネット関係のことも一つとAIロボットを図書館に導入することも視野に入れて考えてはどうか。職員を増やしてくれと言ったが、教育長に限界があり、ボランティアさんも凄くやってくれて伊達市の図書館も成り立っていると言われた。

事務局：ボランティアについて言うと、図書ボランティア、これは、休み明け等に多く返却される本を書棚へ戻す手伝い、本の補修、花壇の整備などで、ブックスタート時の読み聞かせ、絵本の読み聞かせ等のイベント等をしていただいているが、AI化にはなじまないのではないかと。

委員：以前、教育長に伊達まちポイントカードの来館ポイントを導入してはどうか提案

して、機械の関係で難しいと言われたが、次の年から導入されたので、やってみたらどうだと提案すべきだと思う。WEB会議用にインターネット回線を引っ張ってくるというのは莫大なお金がかかるのか。

事務局：そんなことはないと思う。自分たちが想像できないことが将来できるようになる。そのときはその都度入れれば良いだけで、今導入したものは持って1、2年でどんどん良いものが出てくる。そのため、どのようにでもできるようにシンプルな四角の建物を作るのが一番便利だと思う。今建てている伊達小学校がそうである。文部科学省の基準で教室の基準がその都度変わるが、基準に合わせて壁を移動すればいいだけなので、図書館もそうになっていくと思う。今までは人がいなければいけなかったのが、全部機械でやれるようになる時代が来て、その都度財政措置することになる。ただ、図書ボランティアの方の作業は機械ではできないので、これからもお世話になっていくと思う。どこに本をしまっておくとか、そういうことを考えたほうが、10年後、20年後に生きてくる。ただ、皆さんの考えは時代が変わっても大事にしていかなければならないことなので、ご意見をいただいてこちらのほうで把握しておけば将来に繋がっていく。

会長：コロナ禍で社会での交流や対面の仕方が変わってしまって、今の状況が続くそうである。これからの交流の仕方は外せなくなって、そういうことをイメージしながら、図書館にたくさんの方が来て利用するということに、どういう形で取り入れていけば良いかということが出てくると思う。そういったことを利用拡充についてあたりに反映していければ良いと思う。図書としての特徴あることは、図書は活字にされたものを見るということであって、それをどこかで聞いたり画像で見るとということと、読書するということは本質的に違う。その本質をどこかに据えているいろいろなことをイメージすることが大事だと思う。単に知識を入れるためにいろいろな方法があるが図書でなくても良いというのは違う、本来図書の活動というのは。それを大事に考えていきたい。

委員：私の中で広いスペースの図書館のイメージができ上がっていて、楽しみである。

会長：室蘭市図書館に視察に行ったときに、雑誌コーナーのスペースが広がった。ああいう風に作って皆さんが動き回ってゆったりと見られるああいう環境っていい。

委員：あちらこちらに椅子がありましたよね。

委員：新しい言葉でSDGs、持続可能な開発目標ってありましたよね。エネルギーをあまり使わない環境対応のことが入っていない。壁を断熱構造にしたり、熱を蓄える建物にしたり、北海道は寒いので、石油暖房をあまり使わないような構造にする。建物自体のエネルギーがプラスマイナスゼロになるようにすると、その分コストは高くなるが、将来の冷暖房費とかがあまりかからなくなるので、取り組みやすくなるので入れてはどうか。

事務局：整備計画案には入れている。

委員：言われてみればそうですね。保健センターでペレットを暖房に使っている。

事務局：ペレットストーブを使っている。

委員：本庁舎はペレットボイラーを使っていて、カーボンニュートラルと言われているが、作る段階では石油をかなり使っている。それでも、化石燃料よりは良いと言われている。これからの建物はメンテナンスがかかるので太陽光発電等の別の方法を考えたほうがいいのかもわからない。

委員：代々の館長や職員からは冷房をなんとかというのが要望だった。

委員：冷房機能がよくなるように、風が突き抜けるようにして、自然の力を利用して蓄熱させないという構造が多い。

会長：教育長の提言については、今日の協議内容を基に事務局と正副会長とで打ち合わせしまして、提言案をある程度まとめて、次回10月中旬からの第3回会議でご提示して取りまとめたいと思うがよろしいか。

各委員：異議なし。

3 その他

- ・図書館正面花壇の一般花だんの部の努力賞受賞について
 - ・新型コロナウイルス感染症対策（閲覧制限等）の継続について
- <事務局から報告>

令和4年度

伊達市立図書館運営協力会提言（案）

令和4年 月 日

伊達市立図書館運営協力会

【はじめに】

私たち伊達市立図書館運営協力会は、平成19年の設立以来、市民アンケート、先進地公立図書館の視察研修、講師を招聘した各種学習会等を実施しながら本市立図書館の現状や課題、望ましい将来像等について市民目線に沿い多岐に渡って議論を重ね提言を行ってまいりました。

また、平成28年度に「伊達市立図書館あり方検討委員会」による提言、平成30年度に「伊達市立図書館運営基本方針」の策定などを実施し、より良い図書館づくりに向けた活動が進められています。

その中で、先進地公立図書館の視察研修などを行い、当市の老朽化した図書館の整備に向けて提言してまいりましたが、市の財政状況により2年間の事業凍結となった経緯があります。

伊達市立図書館運営協力会としては、歴史と文化の街を標榜する伊達市民として、伊達にふさわしい胸を張って誇れる図書館の実現を熱望しております。

今後、伊達市立図書館が一層充実し、「市民の知の宝庫」としての使命を果たしていくことを願い、次のとおり提言いたします。

伊達市立図書館運営協力会 会長 本多 正機

1 図書館施設整備の早期実現について

図書館施設の整備については、令和2年12月に伊達市の財政状況と政策的な判断により2年間の凍結となりましたが、現在の施設は築40年以上経過して老朽化が著しく、利用者にとっても職員にとっても不便さが増しています。

また、5月26日に実施した「室蘭市図書館」視察や過去に実施した視察の内容を生かし、伊達市立図書館においては、長時間滞在に対応した明るく快適な空間を有する居心地の良い図書館を実現すべく早期の施設整備を実現していただきたい。

また、施設整備の際には特に下記項目を反映していただきたい。

- ① 学習室の拡充、新聞・雑誌スペースの効果的な配置
- ② 飲食可能な閲覧スペースの充実、自動販売機の設置
- ③ 市民の財産である図書資料を除籍せずに配架できる書架の配置と児童書や絵本の五十音順配置

2 図書館の利用拡充について

Wi-Fi環境の整備、刊行物や館内案内の充実のほか、館内掲示やインターネットによる情報発信の強化なども進められていますが、引き続き図書館活動の丁寧な周知活動を行っていただきたい。その際、コロナ禍などの昨今の情勢を踏まえて、多くの市民に安全・安心して利用してもらえるよう対策を進めるために、利用者の要望を聞き、各種団体との連携を密にするなどしていただきたい。

また、図書資料の貸出について、インターネットや電話での予約ができることの積極的な周知、及び返却期限遵守の周知とその啓発に努め、多くの利用者が利用しやすくなるよう対応いただきたい。

3 学校との連携の進め方について

幅広い読書機会を提供するとともに、読書習慣を身につける上で学校における読書環境の整備は重要です。

小中学校と連携することで、児童生徒の読書環境が大きく改善されるとともに、国語学力テストの結果が向上した自治体もあります。

市内の学校再編を進めている段階であるとは思いますが、学校からの要望を踏まえ、読書普及に繋がる活動に努めていただきたい。

また、市全体の読書活動の活性化の一つの方策として、市内の高等学校等との連携を検討していただきたい。

4 図書館職員の適正な人員配置について

現在の図書館職員数では、図書館施設整備の実現や図書館の利用拡充、学校との読書活動の連携を進めるなど、現状を超える事業には対応できかねる状況であるため、図書館職員を補充して適正な人員配置について十分に配慮いただきたい。

○伊達市立図書館運営協力会

役 職	氏 名	所属団体等	選出区分
会 長	本多 正機		公募
副会長	小林 浩路	伊達市社会教育委員	有識者
委 員	安藤 明		公募
	伊藤 洋子	いとう文庫主宰	読書活動グループ
	小倉 敬		公募
	佐藤 朋子	伊達ブンブン文庫	読書活動グループ
	高橋 秀壽	伊達市校長会	有識者
	坪 美幸	きつつきの会	読書活動グループ
	万代 淳		公募
	松崎 恵子	お話の森	読書活動グループ

○委員会開催概要

	開催日	議事
第1回	令和4年6月28日(火)	<ul style="list-style-type: none"> ・教育長への口頭提言結果について ・今年度の会議等開催日程について ・図書館の概要について ・先進地視察を踏まえて、当館で実践・応用可能な取組について ・教育長への提言について
第2回	令和4年8月30日(火)	<ul style="list-style-type: none"> ・教育長への提言について
第3回	令和4年10月中旬	<ul style="list-style-type: none"> ・教育長への提言について